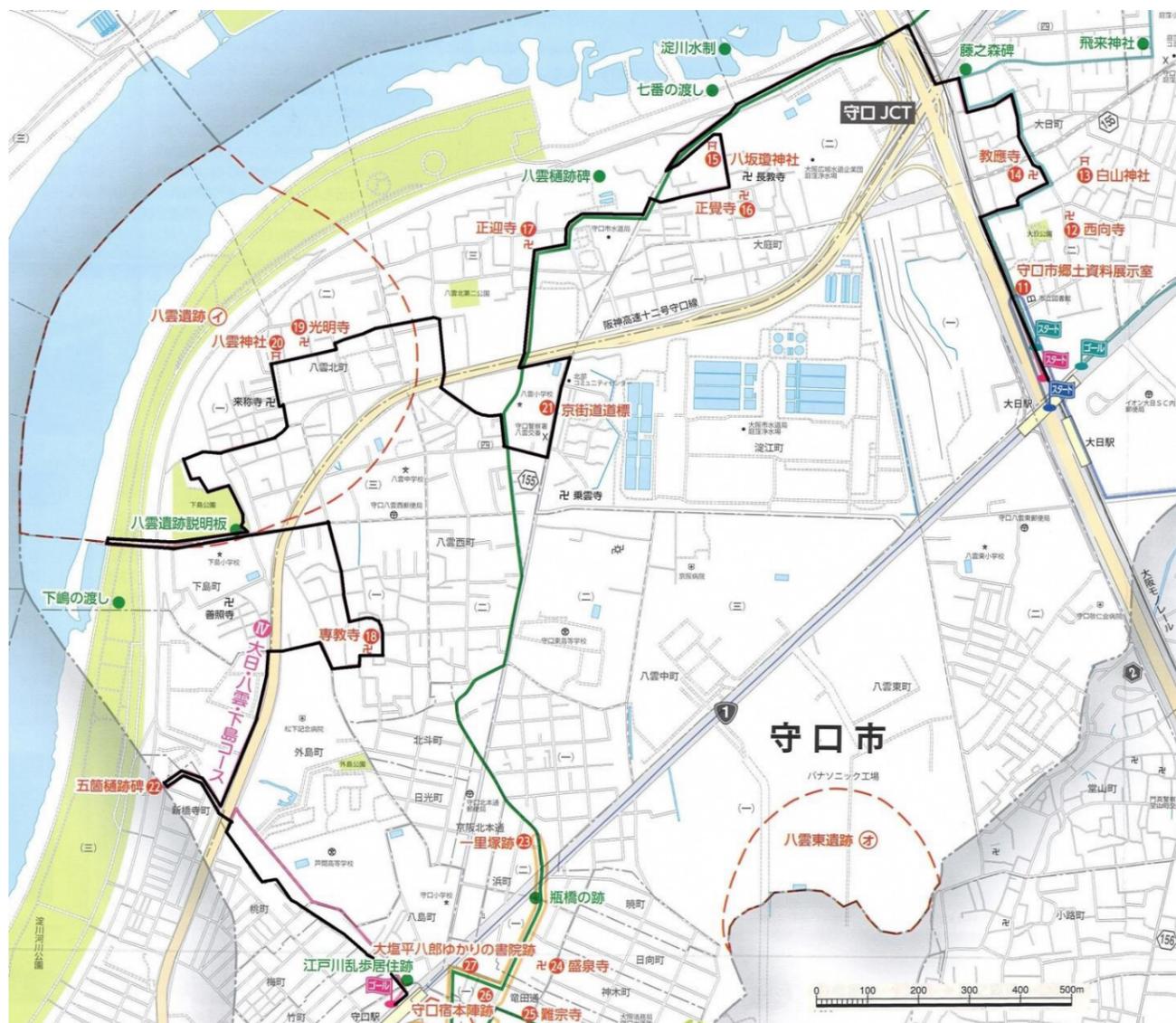


# もりぐち ぶらり歩き マップ

## 史跡散策コースIV (健脚) 大日・八雲・下島コース



しらやまじんじや  
⑬白山神社



きょうおうじ  
⑭教應寺



ふじのもりひ  
○藤之森碑



ななばん わた  
○七番の渡し  
よどがわすいせい  
・淀川水制



やぶかにじんじや  
⑮八坂瓊神社



しょうかくじ  
⑯正覚寺



しょうこうじ  
⑰正迎寺



きょうかいどうみちしるべ  
⑳京街道道標



やぶも こうみょうじ  
⑱(八雲) 光明寺



やぶもじんじやさんどう ほんでん  
⑲八雲神社参道と本殿



せんきょうじ  
㉑専教寺



しもまわた あと  
○下嶋の渡し跡



ごかひあとひ  
⑳(左)五箇樋跡碑 (右)御野立所碑



ももまちりょくどうこうえん  
桃町緑道公園

大阪メトロ・大阪モルール大日駅 - (180m) - ⑪守口市郷土資料展示室 (守口市立図書館内) - (320m) - ⑬白山神社 - (60m) - ⑭教應寺 - (340m) - ○藤之森碑 - (630m) - ○七番の渡し跡・淀川水制 - (220m) - ⑮八坂瓊神社 - (100m) - ⑯正覚寺 - (400m) - ⑰正迎寺 - (420m) - ⑳京街道道標 - (830m) - ⑱(八雲)光明寺 - (60m) - ⑲八雲神社 - (490m) - 八雲遺跡説明板(下島公園) - (510m) - ㉑専教寺 - (580m) - ○下嶋の渡し跡 - (360m) - ㉒五箇樋跡碑・御野立所碑 - (桃町緑道公園630m) - ○江戸川乱歩居住跡 - (50m) - 大阪メトロ守口駅 (全 6,180m)

# 史跡散策コースⅣ（健脚） 大日・八雲・下島コース

大阪メトロ・大阪モノレール大日駅－(180m)－⑪守口市郷土資料展示室（守口市立図書館内）－(320m)－⑬白山神社－(60m)－⑭教應寺－(340m)－○藤之森碑－(630m)－○七番の渡し跡・淀川水制－(220m)－⑮八坂瓊神社－(100m)－⑯正覺寺－(400m)－⑰正迎寺－(420m)－⑳京街道道標－(830m)－㉑(八雲)光明寺－(60m)－⑲八雲神社－(490m)－八雲遺跡説明板(下島公園)－(510m)－㉒専教寺－(580m)－○下嶋の渡し跡－(360m)－㉓五箇樋跡碑・御野立所碑－(桃町緑道公園630m)－○江戸川乱歩居住跡－(50m)－大阪メトロ守口駅（全6,180m）

もりぐちしきょうどしりょうてんじしつ

## ⑪守口市郷土資料展示室

大日の守口市立図書館1階に、守口市郷土資料展示室をあらたに開設した。郷土資料展示室では、様々な実物資料や写真パネルを使って、守口市の地形・地質や、原始時代から近世・近代までの守口の歴史をたどれるよう展示をしている。



しらかやまじんじゃ・ふじのもりひ

## ⑬白山神社・藤之森碑

旧の三番村・四番村・六番村の氏神で、もとは北西に約300mの御旅所の位置にあったといわれ、今その地には「藤之森」の石碑（写真右）が建てられている。現本殿は覆屋の中に一間社流れ造の白山大権現・春日大明神の二殿が左右に並置されている。建立時期は江戸時代中期の元禄から享保の間と見られている。鳥居には「正徳五年 江戸田井三右エ門秀弘 松屋町石大工仁兵衛」の銘がある。



白山神社本殿



藤之森碑

きょうおうじ

## ⑭教應寺

高林山教應寺と号し、現在は浄土真宗本願寺派の寺院である。創建については詳らかではないが、本尊の阿弥陀如来立像からみて、江戸時代半の建立かと思われる。山門横の釣鐘は明治時代に東三国の大願寺から買い取ったものだが、宝暦7年(1757)の銘を有する由緒深いものである。



教應寺山門(右)と鐘楼(左)

やさかにじんじゃ

## ⑮八坂瓊神社

祭神は素戔鳴尊(牛頭天王)で、京都祇園の八坂神社から勧進したとされ、旧大庭七番村の氏神として祀られたとされる。社殿は慶長年間「大坂の陣」で焼失し、元和9年(1623)に再建され、現在の社殿は明治11年(1878)造営されたものである。社前の燈籠には寛文3年(1663)と刻まれ、鳥居には享保8年(1723)癸卯八月二十五日河州茨田郡七番村氏子中とある。「八坂瓊」の「瓊」は「赤い色の玉」の意で、特に御神徳を讃えたものとされる。



八坂瓊神社

よどがわすいせい・ななばん わた

## ○淀川水制・七番の渡し

八雲北町の淀川左岸に残る明治期の水制。明治18年の仮製地図にも描かれており、現存最古級の水制とみられている。七番の渡しはこのあたりか。

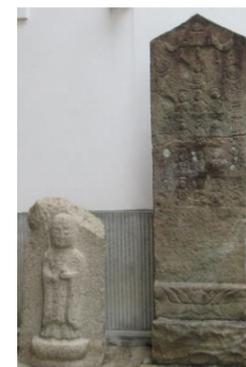


淀川左岸の水制

しょうかくじ

## ⑯正覺寺

もとは大念仏宗来迎寺の末寺だったが、明治5年(1872)に浄土宗となった。古くには大伽藍があったと伝えられ、延宝年間(1673～81)に浄土宗の僧が住み、享和元年(1716)に最譽円察が再建したとされている。



石造板碑十三仏(右)と地藏菩薩

境内にある石造板碑十三仏は大変めずらしいもので、慶長15年(1610)10月15日の銘がある。

また、室町時代の石造地藏菩薩が多数保存されている。

やぐも こうみょうじ

## ⑱(八雲)光明寺

真言宗御室派仁和寺の末寺で、大同元年(806)弘法大師空海の開基と伝えられ、もとは八幡宮寺とも称し、八雲神社の宮寺だった。本尊の十一面観音立像は、守口市内に残る最古の仏像で、国の重要文化財に指定されている。右手を下げ、左手を上げて蓮華瓶を持つ、長谷式の十一面観音立像で、樟の一木造、総高112.7cmである。両手先や持物・宝冠・台座などは江戸時代の後補だが、像の主体部は当初の面影をとどめ、藤原時代(10世紀)の彫像として重要である。裏の墓地には、市内で最も古い康永3年(1344)と刻まれた石塔婆がある。



光明寺本堂

やぐもじんじゃ

## ⑲八雲神社

八雲神社は旧の八番村・北十番村・下島村・南十番村の下番四ヶ村の氏神。本殿は三間社流造で、向拝の中央柱間には虹梁を通さないという、北河内では珍しい形式をもったものである。令和3年(2021)の改築の際、「文政五龍集壬午九月十一日上棟」(文政五年は1822年)の棟札が発見され、この時に三間社形式にしたものと思われる。



八雲神社本殿

せんきょうじ

## ㉒専教寺

嶋名善祐坊の開基でもとは泉教寺と称し、宝永元年(1704)に今の専教寺という寺号に改められた。この寺に伝わる蓮如上人画像は、墨衣御影と考えられ、絹地に両手で数珠を持った座像が描かれている。絹地はやや粗目の、室町時代後期によく使われたいわゆる足利絹を用い、のびやかな描線で温顔のなかにも厳しさを秘めた蓮如上人の像を描いており、蓮如上人画像としては比較的早い時期の作品として、貴重な資料である。



専教寺山門

おのだちしよひ・ごかひあとひ

## ㉓御野立所碑・五箇樋跡碑

大正天皇がまだ皇太子だった明治43年(1910)に、工兵隊の架橋大演習をご覧になった場所で、記念に大正13年(1924)に「御野立所」碑が建てられた。五箇樋跡碑は、守口・小高瀬・寺方・橋波・稗島の五ヶ庄が、淀川から飲料水を引いた樋の記念碑で、昭和6年(1931)に、少し北の淀川堤防下に設置されたが、御野立所碑の隣に移設された。



五箇樋跡碑・御野立所碑